

# うちとこのぎかい

3月議会  
NO. 184  
2022. 5. 1



大淀地区 (山大淀)



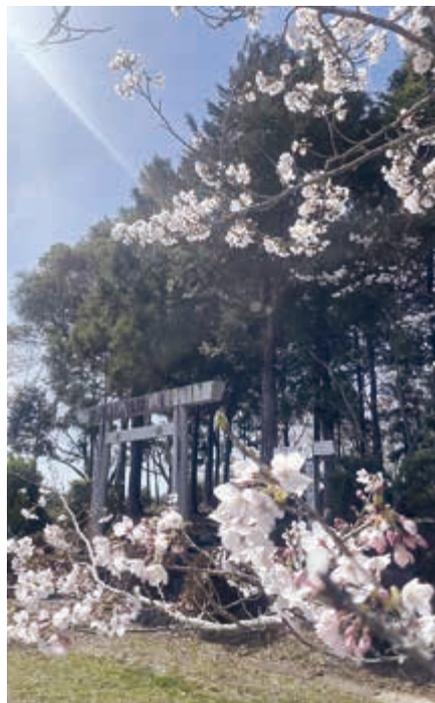
上御糸地区 (佐田)



下御糸地区 (中村)



斎宮地区 (金剛坂)



明星地区 (本郷)



明星地区 (有爾中)

町内の桜風景



## CONTENTS

P. 2 委員会レポート

P. 4 一般質問

P. 9 その後どうなった

P. 10 キラッと輝く人たち

## 総務産業常任委員会

2/21

### 主な内容 ● 明和町事務分掌の改正について

- 令和4年度からの、明和町事務分掌の改正について説明がありました。まちづくり戦略課に「DX推進係」、また生活環境課に「住宅政策係」が新設されます。まちづくり戦略課「DX推進係」ではデジタルトランスフォーメーション（デジタルによる変革）の推進を担当し、総務防災課管財係から情報関連事務が移管されます。併せて同課「まち活性係」にエネルギー政策・交通政策に関する事務を追加し、同課財政係より

ふるさと納税に関する事務が移管されます。また、生活環境課「住宅政策係」では同課環境係から住宅政策・空き家対策・町営住宅等に関する事務を、総務防災課防災防犯係から木造住宅の耐震化・要配慮者宅家具固定助成に関する事務が移管されます。

委員より、「まち活性係」への太陽光発電に係る担当窓口の一本化を検討していくよう要望がありました。

## 教育厚生常任委員会

2/22

### 主な内容 ● 自治会交付金の算定方法の見直しについて

- 生活環境課より、自治会交付金の算定方法の見直しがあり、旧案の活動割の詳細報告から簡易報告に変更され、報告書作成等が軽減されるとの報告と、伊勢広域環境組合新ごみ処理施設整備について令和9年度の稼働に向けた進捗状況の説明がありました。
- 健康あゆみ課より、新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況の説明がありました。
- 教育課より、小中学校における新型コロナウイルス感染対応状況の説明がありました。

- こども課より、公立の幼稚園・保育所・こども園の職員の処遇改善及びご飯給食費の改定と放課後児童クラブを含む新型コロナウイルス感染状況の説明がありました。

- 斎宮跡・文化観光課より、地域文化財総合活用推進事業、異文化交流によるNEWチャレンジャー支援事業など進捗状況の説明を受けました。

## 小学校適正配置等調査特別委員会

3/15

### 主な内容 ● 再編小学校等建設基本構想(案) PFI導入可能性調査及び修正小学校統合の件について

- 令和4年3月15日に、明和町立第1期再編小学校等建設基本構想(案)を決定したいこと、PFI導入可能性調査の結果、DB(デザインビルド)方式で進めること、修正小学校の統合に関する住民説明会が新型コロナウイルス感染症の影響により延期になっていること、運営準備委員会等のスケジュールもコロナ禍であまり進んでいないことについての説明が執行部からありました。委員からは、「各委員会の傍聴ができるように」<sup>\*</sup>「PFI方式が難しい問題点は」<sup>\*</sup>「PFI方式からDB

方式に変更したことの住民説明会は」「建築資材高騰に対する予算の対応は」「建築後の維持管理方式は」等の意見が出されました。今後も、明和町小学校区編制にかかる事業の問題等を、皆様にご理解いただけるよう、議会からもはたらきかけていきます。

※PFI方式…設計・建設・維持管理を民間事業者に一括発注し、施設整備に係る資金調達も民間企業が金融機関から行う方式

※DB方式…設計・建設を民間事業者に一括して発注する方式

令和4年第1回定例会が、3月3日から16日までの会期で開かれ、提案された議案は原案のとおり可決しました。それぞれの結果は下記の通りです。なお予算特別委員会が3月11日から15日にわたり開かれました。

## 議決結果一覧表

議案番号	件名	結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について【田端真美氏】	同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について【石田仁美氏】	同意
同意第1号	明和町農業委員会の委員の少なくとも4分の1を認定農業者等又は認定農業者等に準ずる者とする事の同意について	同意
同意第2号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【濱口信弘氏】	同意
同意第3号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【世古口生多郎氏】	同意
同意第4号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【西場松男氏】	同意
同意第5号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【田端敏人氏】	同意
同意第6号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【浅井敬子氏】	同意
同意第7号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【北村裕美氏】	同意
同意第8号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【吉川幸博氏】	同意
同意第9号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【河井美明氏】	同意
同意第10号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【酒井由美氏】	同意
同意第11号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【小林秀行氏】	同意
同意第12号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【田端 学氏】	同意
同意第13号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【上田元洋氏】	同意
同意第14号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【西山幸延氏】	同意
同意第15号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【田端保正氏】	同意
同意第16号	明和町農業委員会の委員の任命同意について【橋本久雄氏】	同意
議案第2号	明和町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
議案第3号	明和町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第4号	明和町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
議案第5号	明和町都市公園条例の一部を改正する条例	可決
議案第6号	明和町特定用途制限地域における畜舎等の制限に関する条例の制定	可決
議案第7号	明和町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決
議案第8号	明和町道路線の認定について	可決
議案第9号	令和3年度 管工-1 宮川流域関連公共下水道事業 管路施設工事34工区 請負契約の変更	可決
議案第10号	令和3年度明和町一般会計補正予算(第12号)	可決
議案第11号	令和3年度明和町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第12号	令和3年度明和町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第13号	令和3年度明和町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第14号	令和3年度明和町介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第15号	令和3年度明和町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第16号	令和3年度明和町水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第17号	明和町委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第18号	町長、副町長及び教育長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第19号	明和町職員の給与に関する条例及び明和町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第20号	明和町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例及び明和町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第21号	令和4年度明和町一般会計予算	可決
議案第22号	令和4年度明和町斎宮跡保存事業特別会計予算	可決
議案第23号	令和4年度明和町国民健康保険特別会計予算	可決
議案第24号	令和4年度明和町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決
議案第25号	令和4年度明和町農業集落排水事業特別会計予算	可決

議案第26号	令和4年度明和町公共下水道事業特別会計予算	可	決
議案第27号	令和4年度明和町介護保険特別会計予算	可	決
議案第28号	令和4年度明和町後期高齢者医療特別会計予算	可	決
議案第29号	令和4年度明和町水道事業会計予算	可	決
議案第30号	令和3年度明和町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可	決
発議第1号	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議	可	決

## 各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみの表示です。

議員名	奥山	松本	乾	阪井	下井	江	田邊ひとみ	綿民	北岡	山内	中井	樋口	高橋	伊豆千夜子
議案番号	幸洋	忍	健郎	勇男	清史	京子		和子	泰	理	啓悟	文隆	浩司	
議案第10号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第11号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第19号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第20号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第21号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第23号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第24号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第25号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第27号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第28号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	

議長 伊豆千夜子は採決に加わりません。ただし、可否同数の場合は議長採決。「○」は賛成、「×」は反対。

# 一般質問

3月議会の一般質問は、3月9日に行われました。

## 質問議員

高橋 浩司	議員	5ページ
綿民 和子	議員	5ページ
江 京子	議員	6ページ
中井 啓悟	議員	6ページ
下井 清史	議員	7ページ
田邊ひとみ	議員	7ページ
北岡 泰	議員	8ページ

- 一般質問の様子は、令和4年5月13日・14日・15日に、松阪ケーブルテレビ明和町行政チャンネルでご覧いただけます。
- 明和町ホームページの「明和町サイトへ」をクリックしてください。次に右図の明和町ホームページ下部「明和町議会」をクリックしていただくと、議会だよりのバックナンバーがご覧いただけます。
- ふるさと会館・役場閲覧室などに備え付けの議事録もご覧ください。



## Q 人と人が支え合うまちづくりについて

A 地域とのつながりを築いていきたい



高橋浩司 議員

**質 問** ヤングケアラーの実態調査と支援を求める。また、支援条例制定の考えと認知度向上への積極的な啓発を要望する。

**答 え** 実態把握のための調査の実施については、今後健康あゆみ課と教育委員会で協議し小学生も含めたものを実施するかどうかを検討していきたい。様々な事情を抱える家庭に介入し支援を行うには、行政だけで対応することは困難なため、「ヤングケアラー」を正しく認識するための周知啓発が必要であり、地域とのつながりを築いていくことが今後の課題である。支援条例については、名張市を参考に県内の状況等を見て、今後検討していきたい。情報発信や啓発、相談窓口の周知に関しては、小中学校や幼保等を通じたチラシの配布等や支援者への研修、広報やホームページ、LINE等を活用して行っていきたい。

## Q 循環型社会へのまちづくりについて

A 効果的な啓発方法を考えていく

**質 問** 明和町の食品ロスの現状と課題は。フードバンク、フードドライブ活動への支援と食育と環境教育の方針について問う。

**答 え** 未利用食品や食べ残しは、昨年度よりも増加していることが判明したため、今後効果的な啓発方法が課題である。フードバンク等の活動は社会福祉協議会や子ども食堂などで実施しているが、今後、実施を検討している団体へのサポート等を行っていきたい。食品ロスの削減について、学校における食育及び環境教育の果たす役割は大きい。食育の授業はもとより社会科・家庭科・保健体育の授業、給食時間中の給食放送など、あらゆる機会をとおして食の大切さ・ありがたさを啓発し指導していく。

### 他の質問

- 11月予定の明和町長選挙で世古口町長の2期への出馬の意思を聞く。

## Q 子どもの居場所づくりについて

A 県に教育支援センター設置を要望したい



綿民和子 議員

**質 問** ①家庭の抱える困難が複雑・深刻化して、過ごせる居場所がなく孤立してしまう。子どもたちが安心して過ごせる居場所「子ども第三の居場所」の必要性は。②不登校や不登校傾向の子どもたちが自分のペースで学べる居場所づくりとなる教育支援センターを、明和町で開設することについて町の考えは。

**答 え** ①子どもたちの抱える困難は非常に見えにくいものであることから、家庭や学校だけでは解決が難しく、関係機関が連携して子どもの状況を共有し、課題に応じて専門機関につなげることが重要であると考えている。子どもたちの孤立しやすい放課後の時間に、家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して

過ごし、将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む「子ども第三の居場所」が必要な子どもも増えていると思われる。その受け皿として、子どもたちが放課後に地域で見守っていただきながら、楽しく安心して過ごせる場所としての「子ども食堂」を広げていきたいと考える。②松阪教育支援センターは、不登校の児童生徒を受け入れ、学校復帰や学習支援等の取り組みをしている施設で、松阪市・明和町・多気町の3市町で運営している。明和町から通っている子どももいるが、通学に約1時間かかり、子どもも送迎する保護者も疲弊し中断してしまうこともある。子どもたちが自分のペースで学び、保護者も安心して通学させることができる居場所として明和町内における教育支援センター設置の必要性を強く感じており、三重県に対して具体的な展望をもって要望していきたい。小学校や幼保施設の跡地も含めて適切な場所を考えながら、不登校や学校に行きづらい子どもたちの居場所づくりを進めていきたい。

## Q 新型コロナウイルス感染症対策を問う

A 常に住民に寄り添った対応に努めている



江 京子 議員

**質 問** ①子どもが感染した際、町の教育機関との連携は。また、急に仕事を休めない保護者に対する支援は。②住民の不安に寄り添うような分かりやすいパンフレットの作成をお願いしたいが町の考えは。③自宅療養者になった家族への食糧支援の体制は。④コロナ対策に特化した相談窓口設置の考えは。⑤災害時の福祉避難所の協定の現状は。

**答 え** ①保護者からの感染等の連絡について、夜間休日は教育委員会が対応、学校・幼稚園・保育所・こども園・保育所施設と密に連携し、保護者や関係者等へ迅速な情報伝達を行っている。幼保施設は、クラス閉鎖、あるい

は休園となった期間中であっても保育が必要な場合は対応している。②常に住民に寄り添いながら、町のホームページやLINE等で、感染予防対策等の周知啓発を行っているが、玉城町などを参考に、引き続き住民の皆さんへ、よりわかりやすい情報発信や周知、啓発ができるよう努めていく。③感染症患者本人で希望する方には、県から生活支援物資の供給があり、町では、「明和町新型コロナウイルス感染症自宅療養者等緊急食糧等物資給付事業」にて、生活困窮者等を対象に生活支援物資の給付を行っている。④県や保健所が相談窓口を設置している。町では、健康あゆみ課をはじめ、それぞれの担当課が連携を取り合い対応している。現状での対応でご理解いただきたい。⑤福祉避難所は、明和の里とありんこの2ヶ所を指定している。現在、1事業所と協議中で、ほかの事業所も含め拡大に向けて取り組んでいる。

### 他の質問

・コロナ禍を考えた「防災人材バンク」の進捗は。

## Q 空き家対策を問う

A 新たに係を設置して対策を進めていく



中井啓悟 議員

**質 問** ①空き家・特定空家を問わず、建物除却費用の上乗せ支援を。②空き家対策全般に係る業務の一本化及び専門窓口の設置を求める。③民間企業・NPO・公益法人等から、資金調達を含めた支援を受ける「官民連携手法」を取り入れていくお考えは。

**答 え** ①除却等に係る費用の支援については、近隣への悪影響が大きい空き家は、今後特定空家として指定され、除却に向けた指導等を実施し、その後除却され更地になった場合は固定資産税が上がるために、支援対策として「明和町特定空家等用地の固定資産税の減免制度」を4月から町の独自施策として施行予定であり、課税担当の税務課と連携して進めていき

たい。また国の空家等の除却制度が令和4年度から改正されることとなり、これまでの2/5から4/5への補助となる。また三重県でも除却に係る補助制度が新たに施行されるため、詳細を調査し内容を把握したうえで、補助等の支援として活用していきたい。②これまで空き家の専門窓口は生活環境課内の環境係で行っていたが、現状は空き家の苦情対応や一般的な空き家の除却に関する相談がメインであり、空き家の活用などスピーディーな対応が難しい部分もあったため、4月から住宅政策係を新しく設置する予定であり、特定空家の指定も含め空き家対策を進めていきたい。③今後、空き家問題を解決していくためには、町単独での解決が難しい要素もある。全国的にはソーシャル・インパクト・ボンド（官民連携の仕組みの一つで行政・民間事業者・資金提供者等が連携して、社会問題の解決をめざす成果志向の取り組み）などの民間の活用例があるが、主には交通の便なども含め、都心部での活用が多い状況であるため、町としても人口や可住地域の状況、交通形態などの情勢で有効なものがあるか先進的な取り組み事例などを調査して研究していきたい。

## Q 防災施設（設備及び備品）の現況と課題

A 効果的な備蓄を検討して配備したい



下井清史 議員

**質 問** ①津波や高潮の監視が可能となる等、目的が多岐にわたり活用できる気象観測機器は、県内に四日市・鳥羽・尾鷲・熊野に設置されている。しかし、四日市・鳥羽間が離れているうえ、明和町沿岸の海域は遠浅で他と違うため、町内に設置できないか。②菟川の流域治水の取り組みは一定の成果が出ているが、大堀川・笹笛川の2河川への今後の対応は。③津波避難タワーの食糧品備蓄について、町の考えは。

**答 え** ①津地方気象台に対し、潮位計の増設を要望していく。②流域治水とは、気候変動の影響による水災害を踏まえ、堤防整備、ダム再生対策を加速し、雨水が流入する区域と浸水想定区域にわたる流域のあらゆる関係者が協

働して水害対策を行う考えである。国県町及び地域住民も含めた総合対策である。菟川は櫛田川支川であるため、櫛田川流域治水に含まれる対策である。対策内容は、櫛田川河口部河道掘削橋梁改築、右岸堤防整備、蓮ダムの事前放流、貯留の森林整備、二線提保全、防災情報の継続的な発信である。大堀川、笹笛川の流域治水対策は今年度中に策定される予定である。③津波避難タワーについては、一時的な緊急避難場所との位置づけから、当初は必要最小限の資材を備える計画だったが、命をつなぐために必要である保存水を倉庫に備蓄している。他にも簡易トイレなどのトイレ関連用品や防寒シートなどの資材を備蓄している。倉庫のスペースの都合上現在、食糧品は備蓄していない。夏季避難用備蓄についてはないような状況だが、限られたスペースではあるが、避難者にとって効果的な備蓄を検討して配備したいとは考えている。



## Q 住民の声が届く明和町政を

A 地域の実情を踏まえ対応していく



田邊ひとみ 議員

**質 問** ①国が推進する地域医療構想の現状と、地域医療に対する町長の考え方は。②国民健康保険の未就学児均等割減免等、国の制度の活用とあわせ、町独自の減免制度の拡充や事業主も傷病手当金の対策とすることと、国保税の引き下げを求める。③学校給食の無償化を求める。④ジェンダー平等の視点から学校のトイレの生理用品設置を求める。⑤少人数学級の推進と教職員の抜本的定数改善は。

**答 え** ①あらゆる緊急事態に対応できる病床数の確保は必要。安易に国の方針に基づき病床数を減らさず、地域の実情に応じた協議が行われるよう引き続き要望していきたい。②未就学児均等割減免の拡充については、継続して国・県に要望していく。町独自に傷病手当の

対象拡大は困難。国保税の見直しは、県下の国保税の統一の動向などを注視しながら検討していきたい。③給食費は、学校給食法に基づく材料費のみの徴収であり、教育費の限られた財源を有効に活用するため一定の負担をお願いしたい。食品ロスの観点からも給食が無料でないことを食育として学ばせたい。④便利さの観点では、いつでも使える環境が望まれるが、学校としては衛生面・管理面等に不安があり、これまでの保健室での配付を継続したい。⑤義務標準法の改正により、全国の小学校で40人学級から35人学級への段階的な移行が進められている。令和6年度には、全学年が35人学級となる予定だが、全学年30人学級が望ましいと考える。ただし実現には教員数の配置や教室数の確保などの課題があり、国・県の方針に基づき進められるため、県内市町と連携し機会があれば要望していきたい。教職員定数の抜本的改善は、今後も県教育委員会や県内市町教育委員会と連携し要望していきたい。

### 他の質問

・ジェンダー平等への取り組みは。

## Q デジタル田園都市構想に関する取り組みの推進

A 関係者と連携して積極的に推進したい



北岡 泰 議員

**質問** ①新しい分散型社会構築のためローカル5G等のインフラ整備推進と他分野への波及効果を訊ねる。②軽自動車OSS導入の取り組みと商品用軽自動車への課税免除を求める。③医療への適時適切なアクセスのため、オンライン診療を受けられる整備推進を求める。④全ての子どもたちの学びの継続のため、デジタル教材や通信料の無償化を求める。「高齢者デジタルサポーター事業」の取り組みを求める。

**答え** ①5Gは大容量、多数同時接続、低遅延とデジタル社会では必須であり、農業のほか、観光、防災、防犯などさまざまなまちづくりで活用が期待できる。エリアを限定したローカル5G導入は関係者と調整の上、目的や用

途を絞って推進することが必要である。②軽自動車OSS（ワンストップサービス）導入については、全国的な導入時期の令和5年1月から導入できるように準備している。商品用軽自動車への課税免除については、導入すれば収税減となることから、全国的な流れや近隣市町の動向も見ながら検討していく。③スーパーシティ構想で取り組んでいる医療MaaS（移動式医療サービス）について実証実験が行われ、今後どのようにオンライン診療や保健指導等で活用できるのかを現在検証しており、国の方針も確認しながら、地区医師会や近隣市町の状況も踏まえ検討課題としていきたい。④Wi-Fi環境が未整備の家庭には、通信用機器の無償貸出しを実施し、令和4年度から通信料について、就学援助対象者に一定額の補助を行う。公民館講座で短期スマホ教室の実施を予定しており、高齢者サポーターなども含め、高齢者のデジタル活用を推進する。

### 他の質問

- 「犯罪被害者等支援計画」「再犯防止推進計画」の策定を求める。

議会議員を長期に勤めた功績で、  
全国町村議会議長会から  
自治功労者表彰を受けました。



伊豆千夜子 議員  
(15年以上)

阪井勇男 議員  
(27年以上)

## 議会懇談会について



毎年、各地区で実施しておりました「議会懇談会」ですが、令和2年度と令和3年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止させていただきました。

今年度はワクチン接種状況により、コロナ感染が落ち着いてきた後に、開催について考えていきたいと存じます。誠に申し訳ございませんが、ご理解の程よろしくお願いいたします。最後になりましたが、多くの方々が一つにして力を合わせ、このコロナ禍をのりきってまいりましょう！

# その後どうなった？



シリーズ  
第 92 回

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

- Q 一般質問の主な内容
- A Qに対する答弁の内容
- こうなった 現在の取り組み状況や結果など



## 令和3年 3月定例会より

**Q** グループホーム建設について、町としての支援は。  
(綿民和子議員)

**A** 障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことは大切なことであり、建設にあたっては需要と供給のバランスを精査した上で考えていく。

こうなった

令和4年4月に明和町社会福祉協議会がグループホームを開設、町として可能な範囲で支援をしていく予定である。

**Q** 地域医療構想に対する考え方を問う。  
(田邊ひとみ議員)

**A** 医療提供体制の維持、感染症の発生状況に対応できるよう松阪地域全体の将来像を見据えた協議が行われるよう要望していく。

こうなった

感染症の発生状況に対応できる松阪地域全体の将来を見据えた医療提供体制の維持について、協議が行われるよう要望していく。

**Q** 町内個人事業者への新たな支援施策の展開をしていただけないか。  
(中井啓悟議員)

**A** コロナ関連の支援申請データをもとに、今まで把握できていなかった事業を含め、より多くの事業者にきめ細やかな情報発信を行いたい。

こうなった

令和3年8月～9月の緊急事態措置等の影響により、売上げが減少した中小事業者等を支援するため、明和町地域産業応援支援金を創設し、事業者支援施策を実施している。

**Q** 住民が身近に困っているゴミ出し、買物、清掃活動への支援は。  
(江京子議員)

**A** 介護保険でヘルパーの支援が得られる場合もある。将来的にはワゴン車によるデマンドバスの運用も検討している。

こうなった

自治会活動の活性化により、地域課題を解決できるよう、活動内容に応じた報奨金を検討中。デマンド交通は10月から実証実験を予定している。

**Q** 押印廃止と書面主義の見直し、マイナンバーを活用した行政手続きのデジタル化、デジタル対応グループ編成を求める。  
(北岡泰議員)

**A** 押印廃止の方針に基づき見直す、行政手続きのオンライン化に向け取り組む、自治体DXを民間の協力を得ながら推進する。

こうなった

298種類の申請書等の押印を廃止した。マイナポータルでの電子申請や民間ノウハウを活用したDX（デジタルによる変革）の取り組みを進めている。

**Q** 未就学児の医療費の窓口無料化、幼保施設への看護師配置、小児科誘致の取り組み状況を尋ねる。  
(高橋浩司議員)

**A** 未就学児の医療費窓口無料化の対象児童の拡大に向けて取り組みを進めたい。幼保施設への看護師配置は令和3年度から1名増員したい。小児科誘致は医師会等に働きかけ、進めていきたい。

こうなった

医療費窓口無料化の対象児童拡大に向けて県や国に要望している。令和3年度より看護師を1名増員し、各施設に配置した。小児科誘致は地区医師会など関係機関に引き続き働きかけを行う。

# キラッと輝く人たち

\*\*\*\*\*

## 「喜怒哀楽」のスポーツで健康維持！

### 明和カローリングクラブ

「氷上のチェス」と、と言われる頭脳戦のスポーツ。日本では4年前に冬季オリンピックの「もぐもぐタイム」で一躍人気になったカローリング。そのカローリングを、体育館等のフロアを利用して行うのがカローリングです。

ルールはカローリングとほぼ同じ。3人で6個のカラフルなローラーを交互に対戦チームと投げ合います。ポイントゾーンにローラーを入れて大喜び、そしてすぐに対戦相手にはじき出されガッカリ、そして最後のローラーで大逆転もあり。最後まで勝敗はわかりませ



「喜・怒・哀・楽」でストレスもふっとばせ！

ん。その間中「喜・怒・哀・楽・笑・楽・笑」で健康維持です！！

ちなみに最近の成績は、亀山市大会に続き昨年開催された鈴鹿市での三重県カローリング大会においても、連続で優勝チームを輩出しています。

## 編集委員より

### 「互いを思い合う心」

若葉の季節、春から新しい環境での日々を過ごす人もいらっしゃると思います。季節の変わり目や環境の変化で体調がすぐれないと感じる人も出てくる季節でもあります。

ストレス反応は、人間なら誰にでもある正常な反応とのこと。ゆったりと構えて、毎日を楽しくリフレッシュできるよう過ごしたいものです。

さて、人との関係は「互いを思いやる心」が

大切だと思います。相手を尊重することでお互いの関係を柔らかくしておく。

よく例えられるのは「風船のような弾力」です。お互いの関係を壁のように固定するのではなく、その時々で風船のようにやわらかく動く関係にしておく。私自身も、いつもこのことを頭に置いて行動したいと考えています。



明和町公式LINEで  
議会だよりの発行を  
お知らせしています。  
ぜひご登録を！



### 議会だよりの編集特別委員会

委員長：北岡 泰 副委員長：江 京子  
委員：松本 忍、田邊 ひとみ、綿民 和子、山内 理、中井 啓悟、樋口 文隆

令和4年 第2回定例会  
6月13日(月) 午前9時から

■一般質問は13日・14日を予定しています。  
(変更の場合あり)

詳細は、議会事務局までお問い合わせください。